



1. B777に比べ約5cm広がったシート。
2. 肘掛け下にある端子、電源。
3. 落ち着いた柄と色調のシート。



VOL.05

エグゼクティブ クラスのシート

村松謙二(編集部)=文
Text by AGORA

高嶋佳代=撮影
Photo by Kayo Takashima

JALボーイング787のCクラスは42席。
座席配列は「2-2-2」でシートは「JALシェルフラットネオ」を採用した。
B777と比較して、肘掛け間の対比で約5cm幅が広がっている。今回はシェルフラットネオの魅力をもう一度。

なければならなかった。そのほかにも、見やすく扱いやすくなったアームレストのシートコントロールに加え、ベッドポジション時も操作しやすいサブコントロールローラーを新たに、センターコンソール(肘掛け)には、書類やハードカバーも入る余裕ある収納スペース、ご自由にお使いいただけるお手元の小物置き、大型マジックラック、ペットボトルホルダーを備えた。また、音質にこだわったノイズキャンセリングヘッドフォン(ジャカルタ線を除く)などもある。これらが評価され、JALシェルフラットネオは公益財団法人日本デザイン振興会が主催する「2009年度グッドデザイン賞」を受賞している。



(右)使いやすくなったシートコントローラー。(左)広い空間がより快適性を高める。

JALボーイング787の座席数はエグゼクティブクラス42席、エコノミークラス144席の合計186席。B767の1.3倍の大きさの窓や、約14cm高い天井、快適な湿度と気圧、温水洗浄機能付きトイレなどのほか、独自の仕様も多数採用した。エグゼクティブクラスのシートに採用した、「JALシェルフラットネオ」の配列は2-2-2。171度までリクライニングが可能だ。シートピッチは約153cmで、座席幅はB777よりも約5cm広い約54cmとなった。



大きく使いやすくなった15.4インチタッチパネル式モニター。

ちなみにエコノミークラスはレカロ社製シートを2-4-2で配列。シートピッチは約79cm、座席幅は一部の席を除きB777よりも約2cm広い約47cmである。各シートには、ユニバーサルPC電源やUSBポート、映像音声端子のRCAジャックを装備するほか、ビジネスクラスは15.4インチ、エコノミークラスには10.6インチのタッチパネル式個人用テレビモニターを備えている。タッチパネル式とは、操作作用のコントロールローラーが正面の液晶モニターの中にもあり、簡単に操作ができるということ。これまでは座席の横にあるコントロールローラーを引き出さな